

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 4 月 22 日(2024.4.22)

【公開番号】特開 2024-1182(P2024-1182A)
【公開日】令和 6 年 1 月 9 日(2024.1.9)
【年通号数】公開公報(特許)2024-003
【出願番号】特願 2023-173828(P2023-173828)
【国際特許分類】
C 0 8 L 23/04(2006.01)
【F I】
C 0 8 L 23/04

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 4 月 11 日(2024.4.11)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

下記式(1)～式(3)を同時に満たすエチレン系樹脂組成物であって、
 $H_t = 0.0133 \times e^{0.0350 \times t}$ 式(1)
 $H_t = 0.0025 \times e^{0.0450 \times t}$ 式(2)
(ただし、式(1)において右辺の計算値が 1 超となる場合は 1 であるとみなす)
 $110 \leq t \leq 130$ 式(3)

(式(1)～式(3)中、
t は、温度()を示し、

H_t は、示差走査型熱量計(DSC)の吸熱ピークの測定方法により該樹脂組成物の吸熱曲線を測定し、融解熱量総量 H_m と融解開始温度 t₀ から t までの融解熱量の総量 h_t を求め、次式(4)

30

$H_t = h_t / H_m$ 式(4)

により算出される、温度 t における該樹脂組成物の融解成分量である。)

密度 8.95 kg/m^3 以上、かつ 9.20 kg/m^3 未満の直鎖状低密度ポリエチレン(LLDPE) 1～90 質量部と、密度 9.20 kg/m^3 以上、かつ 9.48 kg/m^3 以下の直鎖状低密度ポリエチレン(LLDPE) 1～90 質量部と高密度ポリエチレン(HDPE) 1～50 質量部(3 種併せて 100 質量部)との組み合わせである、エチレン系樹脂組成物。

【請求項 2】

40

下記要件(a)～(c)を満たす、請求項 1 に記載のエチレン系樹脂組成物；

(a) JIS K 7112 に準拠して測定した密度が 9.00 kg/m^3 以上、 9.80 kg/m^3 以下、

(b) JIS K 7210 に準拠して、1.90、2.16 kg 荷重で測定したメルトフローレート(MFR)が 0.01 g/10 分 以上、 50 g/10 分 以下、

(c) 示差走査型熱量計(DSC)における吸熱曲線の最大ピーク温度(T_m)が 116 以上。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のエチレン系樹脂組成物からなる容器。

【請求項 4】

50

1 1 6 で 2 6 分間、高温滅菌処理をした後、日本薬局方第十六改正の透明性試験第 1 法に記載される紫外可視吸光度測定法による波長 4 5 0 n m の透過率が 5 5 % 以上を満たす、請求項 3 に記載の容器。

【請求項 5】

胴部の平均厚みが 0 . 0 1 ~ 1 . 0 m m である、請求項 3 または 4 に記載の容器。

【請求項 6】

単層構成である、請求項 3 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の容器。

【請求項 7】

医療用途または食品用途である、請求項 3 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の容器。

【請求項 8】

輸液用容器である、請求項 3 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の容器。

10

20

30

40

50